

真鶴町公用車への募集ステッカー掲示



ステッカー掲示状況

神奈川地方協力本部 小田原地域事務所（所長 米田2陸尉）は、真鶴町の公用車に自衛官募集ステッカーの掲示を依頼したところ、無償での掲示を快諾された。

ステッカーの掲示は、真鶴町長から「公用車は、町内の至る所を走り、町民の目が留まりやすいため宣伝効果は絶大である」との提案もあり、実現したものである。

小田原地域事務所は、「今後も、平素から地域とのつながりを重視してあらゆる方法を有効に活用し、貴重な情報を獲得していく」としている。

平成27年度自衛隊観艦式第1回事前公開

神奈川地方協力本部 第4期カレッジ防衛モニター 永井 健太

10月12日、平成27年度自衛隊観艦式第1回事前公開を見学した。観艦式は3年に1度開催される海上自衛隊の行事であり、今回参加したのは第1回目の事前公開である。

午前8時、朝日に輝く船越の岸壁にラッパの音が一斉に響いた。自然と身が引き締まると共に期待が高まる。全国から集結した多くの艦艇が停泊する中、私は掃海母艦うらがに乗船した。船越を出港したうらがは、その名の由来である浦賀水道航路を抜け、相模湾へ向かう。心地よい風が吹く相模湾には各地から出港した艦艇が続々と集結し、隊列を組んでいく。観艦式の開始時刻が近くにつれて、観閲部隊の左舷前方から受閲艦の隊列が一直線に前進してくる。12時になり、ついに観閲が始まる。観閲艦と受閲艦が反航する方式で行う観艦式は高度な技術が要求されるため、世界的に見ても珍しい。艦艇が海上を一直線に進む光景には特に感銘を受けた。

観閲が終わると、観閲部隊と受閲部隊は共に回頭して再び反航する方式をとり、訓練展示が始まる。訓練展示では、祝砲に始まり、戦術運動や潜水艦の潜航・浮上、航空機によるIRフレアーの発射など、普段目にすることのできない海上自衛隊の訓練の様子を見ることができた。クライマックスには航空自衛隊のブルーインパルスが上空に大輪のスクラを咲かせ、興奮冷めやらぬなか観艦式第1回事前公開は閉幕した。艦艇、潜水艦、航空機が一体となって行動する様子は、まさに「海を守り、明日へ繋ぐ」という言葉を象徴していた。

今回の観艦式第1回事前公開は、普段目にするこのない海上自衛隊の活動を見ることができただけでなく、掃海母艦うらが、第2護衛隊群、海上幕僚監部の多くの隊員からお話を伺えた貴重な機会となった。また機会があれば是非見学したいと思う。

東部方面隊創立56周年記念行事“観閲式”

神奈川地方協力本部 第4期カレッジ防衛モニター 永井 健太

平成27年11月1日、陸上自衛隊朝霞訓練場で行われた東部方面隊創立56周年記念行事・観閲式を見学した。東部方面隊は関東・甲信越および静岡県の一部10県の防衛を任務とする部隊である。観閲式では東部方面隊の部隊による徒步行進を始めとして、ヘリコプターの編隊飛行、車両の行進が行われた。また、会場内では装備品の展示も行われ、様々な車両を間近で見学することができた。

今回の観閲式では、陸上自衛隊の多くの部隊の行進を見ることができたが、それぞれの部隊の任務や活動についてあまり詳しく知ることはできなかった。そのため、訓練展示や部隊ごとの紹介があれば、陸上自衛隊の活動を知る機会としてより良かったのではないかなと思う。